

Raisonance Rkit for ARM開発環境

IDE, Flash書き込みツール、コンパイラ、JTAGエミュレータ等のパッケージ



Raisonance Rkit for ARM

ARMコアベースのマイクロコントローラに対応した開発環境

- ARM Cortex™ (M3、M4、M0)
- STマイクロエレクトロニクス (STM32F、STM32L、STM32W)
- NXP (LPC17、LPC11)
- テキサス・インスツルメンツ/Stellaris (LM3S)
- シリコンラボ/Energy Micro (EFM32)

特 徴

- ARM搭載プロセッサ用統合開発環境
- GCCベース
- Flashプログラマツール
- ライブラリサンプルおよびシュミレータ
- Rlink (PCホスト; USB接続、ターゲットJTAG/SWD接続)

Ride7統合開発環境

すべてのツールのためのユーザインターフェイスです。それはあなたのアプリケーション開発の開始から終了まで制御することができます。コードエディタ、コンパイル、最適化やデバッグを含みます。

RFlasher7書き込みツール

RFlasher7インターフェイスは、ターゲットMCUのフラッシュメモリに対してプログラムすることができます。Ride7と一緒にインストールされています。

Rkit-ARM (Ride7サブセット)

Ride7のサブセットです。Cツールチェーン (GCC)、デバイス、スクリプトツール、デバッグおよびプログラミング・インターフェイス機能を定義できます。Enterpriseライセンスには、サードパーティのコンパイラおよびC++プログラミングのサポートが含まれています。

SIMICE ARMシュミレータ

RaisonanceのSIMICE (すべてのメモリ空間を含む)、ARMコアといくつかのARM周辺機器をシミュレートするか、プログラムの開発およびデバッグあなたのARM CPUはRLINK JTAG/SWD標準エミュレータ (またはそれを含む製品) を使用する場合、グラフィカルインターフェイスとして機能します。同一のユーザインターフェイスは、シミュレータおよびハードウェアデバッグツール (RLINK) のために使用されます。

Rlink

RLINKは、USBインターフェイスを備えたJTAG / SWD標準エミュレータです。ターゲットボードとアプリケーションをデバッグのARMデバイスをプログラムすることができます。

